



2020年5月18日

各位

会社名 I N E S T 株式会社
代表者 代表取締役常務 片野 良太
(コード番号: 3390 東証 JASDAQ)
問合せ先 管理本部 広報・IR 課
T E L 0 3 - 6 8 9 4 - 6 2 4 0

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年2月13日に公表した2020年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2020年3月期 通期連結業績予想と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
直近発表予想(A)	3,300	△200	△205	△255	△4.25
今回実績値(B)	2,967	△483	△649	△698	△11.65
増減額(B-A)	△332	△283	△444	△443	
増減率(%)	△10.1	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	3,607	△438	△435	△433	△7.89

2. 差異の理由

当社は、2019年11月8日公表の「営業損失及び営業外費用、特別損失の計上ならびに連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、第2四半期連結会計期間において貸倒引当金繰入額として販管費及び一般管理費に87百万円、営業外費用に202百万円を計上しておりますが、通期業績予想については、事業環境の変化等により変動する可能性がございましたので、前回発表を据え置き、積極的な営業活動を行ってまいりました。しかし、直販事業において、2019年10月の法改正を受けて携帯電話端末等の販売台数が当初見込みよりも大幅に減少し、広告ソリューション事業において、競合他社との競争環境が厳しさを増す中で、新規顧客の獲得が当初見込みよりも伸長せず、人件費や販売促進費等の販売費及び一般管理費を上回る水準の売上総利益を稼得することができず、各予想数値について前回予想を下回る見込みとなりました。

このような経営状況の中で、当社は財務体質の確保及び収益性の改善に向けて、新たな経営体制へ移行(詳細は2020年4月24日公表の「株式交換による株式会社アイ・ステーションの完全子会社化及び定款一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。)することを決めました。

一方で感染拡大が続く新型コロナウイルスの影響により、企業活動の停滞が続き、経済面での影響が甚大となる可能性があります。今後、国内外経済への影響の広がりや長期化の度合いによっては、さらに深刻度を増すことが予想されております。2020年3月期の当社の連結業績に与える影響は軽微ですが、2021年3月期に

において当社の事業活動への影響については、現在精査中ではございますが、今後の事業への影響を慎重に見極め、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上